

令和4年度
江別市における青少年健全育成
関連施策

江別市教育委員会

学校教育支援室教育支援課

生涯学習課

目 次

「心のケアの充実」

・ 問題行動対策事業	・・・	1
・ いじめ・不登校対策事業	・・・	3
・ 「心の教室」相談事業	・・・	5
・ スクールカウンセラー事業	・・・	6
・ スクールソーシャルワーカー事業	・・・	7

「青少年健全育成活動の充実」

・ 地域体験活動事業	・・・	9
・ 子ども会育成事業	・・・	11
・ はたちのつどい開催事業	・・・	13
・ 科学体験教室開催事業	・・・	14
・ 青少年のための市民会議補助金	・・・	15
・ 青少年キャンプ村事業	・・・	17
・ 江別の魅力「食」と「自然」を満 喫できる体験型学習事業	・・・	19

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。
- ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会等を開催し、関係機関の連携を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	256	200	140	260
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	14	11	17

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	75	44	40	40
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	4,511	4,978	5,509	5,513
正職員人件費 (B)		千円	7,303	6,485	6,462	6,603
総事業費 (A+B)		千円	11,814	11,463	11,971	12,116

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回街頭指導の実施 ・祭典巡回指導の実施 ・江別市指導連絡会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任指導員報酬等 4,791千円 	

令和4年度 校外生活のきまり

保護者の皆様へ

- 1 児童生徒の校外生活について、健全育成という観点で、行動など注意深く見守りください。また、社会生活のマナーなどについても大人自ら手本を示してください。
- 2 市内の各小中学校では、地域や学校の行事等に応じて、細かなきまり等が提示されることもありまますので確認の上ご指導ください。

外出について

- 1 出かけるときは、行き先、目的、帰る時刻を家の人に告げてから外出する。
- 2 外出時刻は、

月	小学生	中学生
4～9月	午後6時まで	午後7時まで
10月	午後6時半まで	午後6時半まで
11～2月	午後5時まで	午後6時まで
3月		午後6時半まで

※ 保護者と一緒のときは、保護者の判断による。
尚、学校独自の取り決めもあるので、その際は、学校の「きまり」を守る。

- 3 登下校の途中で、買い物や飲食はしない。
- 4 映画には、3年生以下は、必ず保護者など大人と一緒に行く。4年生以上が外出時刻を超える時は、保護者など大人と一緒に行く。
- 5 友達を泊めたり、友達の家泊まったりしない。

遊びについて

- 1 危険な場所(工事現場、線路、河川など)へ近づか

ない。また、危険な遊び(花火の変造、火遊び、人や動物を標的にするエアガン等の遊具)はしない。

- 2 花火は、時間、場所、安全を考えて近所に迷惑をかけるないように、保護者など大人と一緒に行う。
- 3 魚つり、キャンプ、登山、海水浴、スキーに行くときは、保護者など大人と一緒に行く。
- 4 ゲーム場やゲームコーナー、ボウリング場、カラオケボックス、インターネットカフェは、保護者など大人と一緒になければ利用できない。
- 5 スケートボードは公園等で人に迷惑がかからないように使用することとし、道路の使用は原則として禁止とする。

交通安全について

- 1 道路では遊ばない。
また、信号を守り、常に車や左右の道路状況に注意するなど安全確認をする。
- 2 自転車の利用については、歩行者や車に迷惑をかけるないように交通ルールやマナーを守る。
自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶるなど安全には十分に気を付けるとともに、横断歩道を渡る時は、自転車からおり、必ず左右を確認してからおし

その他

- 1 不審者に十分注意し、何かあった場合は、近くの大人や子ども110番の家などに助けを求め、すぐ警察や学校へ通報する。
- 2 市民体育館などの公共施設を使うときは、ルールやマナーをしっかり守って利用する。
- 3 大型店や商店への出入りは、用事のあるときだけにし、むやみに立ち入らない。
- 万引きは犯罪であり、絶対しない。
- お客さんに迷惑となる行動はしない。
- 4 インターネット等を利用する場合は、フィルタリングをかけるなど家庭のルールを決めて利用する。

えべつスマート4RULES (ルール)

※江別市内小・中学生のスマホ・ネット等の利用に関する共通ルール

- ◀ルール 1> 1日2時間以内とし、友だちとのメールなどのやり取りは、夜9時以降は行わない。
- ◀ルール 2> 悪口や人を傷つける内容は書き込まない。送る前に、しっかり確認する。
- ◀ルール 3> 名前・住所・学校名・顔写真などの個人情報報は、絶対に投稿・公開しない。
- ◀ルール 4> 困った時は一人で悩まず、保護者や先生などの大人に相談する。

令和3年度 青少年 健育成 選入 賞品

- ◆命はね 親からもらった プレゼント 世界に一つ 大切なもの 文京台小学校 6年 山口 柚葉 さん
- ◆もし君に 何かあるなら すぐ行くよ 何でも聞くんよ だいじょうぶ 上江別小学校 3年 佐藤 夏菜 さん
- ◆世界にね 平等なんて少ないよ だからほくらがつくらなさや 文京台小学校 6年 牧野 花音 さん
- ◆反抗期 イライラ私の照れ隠し 本当はいいたい “いつもありがとう” 大麻東中学校 2年 佐藤 由唯 さん

困ったことや相談ごとは・・・

- 江別市少年指導センター 384-7830
- 江別市いじめ不登校相談 382-4044
- 江別市家庭児童相談 381-1236
- 子ども相談支援センター 0120-3882-56 (24時間)

江別市立

学校

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	174	208	250	250

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・いじめ・不登校の専用相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
- ・青年センターにおいて、スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
- ・不登校児童生徒を対象に、適応指導教室「すぽっとケア」を運営する。
- ・いじめ問題等について、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
- ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
- ・情報モラル講演会を開催するほか、普及啓発資料を配付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	86	80	80	80
活動指標 2	すぽっとケア・ケア事業開催回数	回	121	120	152	168

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・いじめが解消される。
- ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。
- 又は、登校には至らないものの、学校外の機関等での相談・支援等を受けるなど状況が変化する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	99	99	99	99
成果指標 2	再登校率	%	16	8	8	8

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,378	5,671	6,468	8,863
正職員人件費 (B)		千円	8,840	8,773	8,742	8,545
総事業費 (A+B)		千円	14,218	14,444	15,210	17,408

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の専用相談の実施 ・スクールカウンセラーによる教育相談の実施 ・不登校児童生徒を対象にすぽっとケア（学習支援）とケア事業（体験活動）の実施 ・心のダイレクトメール事業の実施 ・中学生サミットの開催 ・情報モラル普及啓発の実施 	専任指導員等報酬：7,186千円 心のダイレクトメール事業経費：29千円 中学生サミット開催経費：80千円 情報モラル普及啓発経費：292千円	

不登校支援

江別市適応指導教室

すぽっとケア

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
青年センター	情報図書館	青年センター	青年センター
会場			

「すぽっとケア」の日課

- 10:00～10:05 朝の会
- 10:05～11:15 学習の時間
- 11:20～11:55 交流活動 集団活動
- 11:55～12:00 帰りの会

【予定の確認・活動目標設定】

- ・自学自習 自分の計画で自習
- ・支援授業 支援員による授業
- ・個室学習 個室で支援員と学習
- ・スタッフとの交流
- ・トランプ等のゲームや軽スポーツ
- ・後片付け 連絡

体験活動

ケア事業(年8回程度)

- ・料理教室
- ・食育・農体験
- ・高校見学 etc.

すぽっと読書(毎週火曜)

- ・読書に親しむ日
- ・10:00～12:00
- ・場所 情報図書館

通級までの流れ

- 1 入級相談
 - ・学校、教育委員会へ相談
- 2 員学・面談
 - ・すぽっとケア見学
 - ・担当者との面談
- 3 学校への連絡
 - ・入級の提出
- 4 通級開始

【お問い合わせ】 各小中学校 又は 江別市教育委員会 教育支援課
☎ 011-381-1409

江別市適応指導教室「すぽっとケア」案内

不登校に悩んだら、まずはご相談ください

学校に行きたくても、行けない子のために

～支援の基本姿勢～

学校や保護者の皆さんを応援します

集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のため
お子様や保護者の方の教育相談を進めながら困り感の解消に努めます。

学校と連携し、社会的自立に向かえるよう支援します。

活動内容 日課表

月・水・木曜日	青年センター	緑町西 2-11	火曜日	情報図書館	野幌末広町 7
朝の会	10:00～10:10		朝の会	10:00～10:10	
学習前半	10:10～10:40		読書前半	10:10～11:00	読書活動
学習後半	10:40～11:15		読書後半	11:00～11:50	読書活動
振り返り	11:15～11:20	日誌記入	帰りの会	11:50～12:00	日記記入
集団交流運動(百人一首)	11:20～11:55				

- 【個別指導】
- ・学習支援
 - ・相談活動
 - ・個室支援
 - ・訪問支援
- 【集団指導】
- ・集団・交流活動、百人一首
 - ・読書活動(毎週火曜日)
 - ・ケア事業(年10回程度)
 - ・料理教室、百人一首
 - ・食育・農体験、高校見学
 - ・軽スポーツ等
- 【連携支援】
- ・学校との情報共有
 - ・保護者相談
 - ・保護者懇談会(7月と11月)
 - ・SSWとの連携
 - ・学校訪問
- ※年間予定表をご参照ください。

私(ぼく)にとつての「すぽっとケア」

いしばし

☆安心して暮らせる。 ☆いろんな方とコミュニケーションがとれるところ。
☆初めて来た時は、緊張して声も出さないうえに、慣れずしてしまえばこんなにも居心地のいいところはない場所でした。

じぶん

☆本を読める場所
☆話を聞いてほしい場所。
☆自分についてじっくり考え、知ることが出来る場所。
☆帰る時には、ちよっと気持ちが開けるところ。


みらい

☆自分の目標を明確にし、活動することができ、前に進むことができる場所。
☆私たちの将来のために、頑張ってくれたり、手助けしてくれるところでした。

なにか

☆お母さんや先生、友達と一緒に帰るために、頑張ることが出来る場所。
☆たくさんお話を聞いてほしい場所。
☆友達がいっぱいいて、楽しいところ。
☆色々な学校の人と遊べる、楽しい場所。

連絡先
江別市教育委員会 教育支援課 011-381-1409 または 384-7830(直通)
すぽっとケアメール spot-daihyo@ed.city.ebetsu.hokkaido.jp



事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童及び保護者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小学校児童数	人	5,635	5,751	5,759	5,826
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談員を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	相談員配置学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	4,967	5,386	5,400	5,400

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童及び保護者の悩みが軽減、解消される。
 ・児童が安心して学校生活を過ごせる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	17,075	14,689	14,700	14,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,146	5,402	5,524	5,524
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	6,683	6,928	7,044	7,078

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童及び保護者の悩みや相談に対応	心の教室相談員報酬：5,422千円

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	配置学校数	校	9	10	11	25
活動指標 2	延べ相談時間	時間	778	785	809	809

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,236	1,160	1,200	1,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	45	25	27	32
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	1,582	1,551	1,547	1,586

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	市内小中学校にスクールカウンセラーを配置し、相談業務にあたる。	配置校消耗品費：32千円

事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
 ・学校や関係機関（医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等）との連携や調整
 ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,340	1,099	1,100	1,100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	支援児童生徒数	人	147	181	190	190
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	6,750	6,722	7,529	7,546
正職員人件費 (B)		千円	1,537	3,052	3,041	3,107
総事業費 (A+B)		千円	8,287	9,774	10,570	10,653

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	福祉の専門知識を持つスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。 なお、活動指標2「延べ相談支援件数」は、成果指標1「支援児童生徒数」に対して行った相談支援の延べ件数である。	スクールソーシャルワーカー報酬・手当：7,495千円

スクールソーシャルワーカー(SSW)だより

江別市教育委員会
学校教育支援室
教育支援課

～ こんにちは！江別市のスクールソーシャルワーカーです ～

江別市教育委員会では、スクールソーシャルワーカー（SSW）3名を配置し、不登校やいじめ虐待、DV、貧困、発達障がいなど、児童生徒や保護者、先生方のさまざまな困り感に福祉的な立場から助言や支援を行っています。

※ 派遣要請にかかる書類等は不要です。

※ 派遣要請にかかる書類等は不要です。

※ 問題を抱える児童生徒の状況について概要と、以降SSWとの連絡担当者をお知らせください。（管理職、特支コーディネーター、生徒指導担当等）

※ 相談内容の基本的な情報や状況についてお伺いします。

※ 電話や学校訪問で、担任やコーディネーターから様子をお聞きします。

※ 児童生徒の授業態度や保護者面談などを行い、現在の課題の把握や、支援の方向性の共有等を行います。

※ 児童生徒が置かれている状況に応じて対応をします。

※ 子育て支援課や児童相談所、放課後児童サービス、医療等との機関連携や、支援における情報共有と方向性の確認、役割の設定のためのケース会議など、具体的な支援プランを提案します。

集団生活になじめない子に、どう関わればいいかな？

関係機関と連携したいけど、どうすればうまくいくでしょうか？

不安が強く、登校が安定しない…

子ども達の育ちや、保護者との関わり方について校内研修したいなあ

保護者と学校の関係が難しく子どもの支援に繋がらない…

【令和4年度のSSW担当校について】

SSW田村		SSW長谷川		SSW栗田	
9時～17時15分勤務 (火曜日不在)	8時45分～17時00分勤務 (金曜日不在)	9時～17時15分勤務 (木曜日不在)	小学校	中学校	中学校
大森小学校 大森西小学校 文京台小学校 大森東小学校 大森泉小学校 中央小学校 刈鹿小学校	江別第二小学校 野幌若葉小学校 東野幌小学校 野幌小学校	江別第一小学校 豊幌小学校 江別太小学校 北光小学校 いずみ野小学校 上江別小学校	江別第一中学校 野幌中学校	江別第一中学校 江別第三中学校 江陽中学校	
SSW田村です。10年目になりまいたが初めは忘れず、心だけで子ども達と向き合いたいと思います。小中連携で継続的な支援ができる様、ご相談に対応していきたいと考えています。	SSW2年目の長谷川敬です。先生方、保護者の皆様のお話を丁寧にお聞きしたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。	SSW栗田です。対応が難しいケースにも、先生方が一生懸命関わって下さっている姿勢に私も日々励まされています。今年度もよろしくお願いたします。			

ケース相談の流れについて

- 各小中学校から教育支援課へ連絡してSSWの派遣を要請して下さい。派遣要請は「学校としての決定」に基づき、管理職が状況を把握した上で行ってください。
※ 派遣要請にかかる書類等は不要です。
※ 問題を抱える児童生徒の状況について概要と、以降SSWとの連絡担当者をお知らせください。（管理職、特支コーディネーター、生徒指導担当等）
- 相談内容の基本的な情報や状況についてお伺いします。
※ 電話や学校訪問で、担任やコーディネーターから様子をお聞きします。
- 児童生徒の授業態度や保護者面談などを行い、現在の課題の把握や、支援の方向性の共有等を行います。
- 児童生徒が置かれている状況に応じて対応をします。
※ 子育て支援課や児童相談所、放課後児童サービス、医療等との機関連携や、支援における情報共有と方向性の確認、役割の設定のためのケース会議など、具体的な支援プランを提案します。

「巡回相談」
江別市では発達や学習において心配や配慮が必要な児童生徒に対し、学校に専門家を派遣し、検査や助言を受けることができる巡回相談を実施しています。

SSWは「巡回相談」や「すぽっとケア」で、児童生徒や家庭を繋ぐための支援も行っていきます。

適応指導教室「すぽっとケア」
学校に登校できない児童生徒の居場所として、江別市青年センターや情報図書館を利用し、月曜から木曜の10時から12時に適応指導教室を開講しています。

校内ケース会議・支援会議へのスクールソーシャルワーカー(SSW)の参加をご検討ください

～ 子どもを取り巻く問題の複雑化・多様化に備えて ～

SSWは「チーム学校」の実現に向けて、専門性に基づく具体的なチーム体制や「見通し」を提案しています。個別ケースへの初期対応をはじめ、不登校などへの予防的な対策の検討など、各学校で行われるケース会議や校内支援会議にSSWが参加し、日頃から学校の状況を共有することで、関係機関等とのコーディネートが効果的に図ることができ、

※ 会議の日程等につきまして、都度各担当SSWにお知らせください。

つなげるころ つながる支援

ご相談は、江別市教育委員会 教育支援課
スクールソーシャルワーカーまで
江別市高砂町24-6 TEL 011-381-1409

事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略				
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内小中学生

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	実施事業数	事業	3	2	1	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計ることのできない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	67	36	17	54
成果指標 2						

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	206	21	117	79
正職員人件費 (B)	千円	3,075	2,289	2,281	1,165
総事業費 (A+B)	千円	3,281	2,310	2,398	1,244

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	【自然体験】 ツリーイング体験会の実施 【生活体験】 はじめてのお泊まり会（コロナ禍のため休止）	ツリーイング体験会の実施 79千円

ツリーイング(木登り)体験

【ツリーイングとは？】

専用のハーネス(安全ベルト)をつけて木に登り、自然との一体感を味わう体験活動です。

普段、登ることができない高い木の上で、開放感や達成感を感じてみませんか？木の上から見る景色は最高です！

みんなと一緒に楽しい思い出を作りましょう！！

【日 時】 10月9日(土) 第1部:10時～11時30分

第2部:12時30分～14時

第3部:14時30分～16時

【会 場】 湯川公園(江別市野幌寿町19)

【対 象】 小学4年生～中学3年生

【定 員】 各部 6名

【申込受付】 9月8日(水)～22日(水)

※申込数が定員を超えた場合は抽選となります

【参加費】 無料

詳しくは裏面
を見てね！



【お問合せ先】

江別市教育委員会 生涯学習課

〒067-0074 江別市高砂町24-6

電話：011-381-1069



事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区育成会）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助金交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2	市内の各地区子ども会育成会の数	団体	3	3	3	3

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	737	540	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会において、各種体験型事業が開催され、参加する児童・生徒数が増えることで、会の活動の活発化と子どもたちへの体験の機会が図られる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	298	22	36	36
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	37	4	5	5

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	737	540	737	737
正職員人件費 (B)		千円	2,690	1,907	1,901	1,554
総事業費 (A+B)		千円	3,427	2,447	2,638	2,291

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 小学生相撲大会、青少年キャンプ村、ドッチビー体験会、小学生かるた大会の開催 こいのぼりフェスティバル、スノーフェスティバル等への協力 各地区育成会との連携、協力 ジュニアリーダー養成の支援 会議等の開催 活動団体に対し補助金を支出 ※コロナ禍において事業の一部中止があった場合は、代替事業を行う可能性あり。	・子ども会への補助金 737千円	

知ろう！やってみよう！ ドッチビー体験会

令和3年8月28日(土)9時30分から

場所:東野幌体育館(江別市東野幌町 28-23)

対象:市内在住の小学生から一般

新型コロナウイルス感染症対策
を徹底して実施するよ!

ドッチビーとは?

フリスビーのようなディスクを使う
ニュースポーツです。
素材がやわらかいので当たっても痛く
ありません。
年齢に関係なく楽しめますので、ぜひ、
親子や友達同士でご参加ください!



<これまでの様子>



北海道フライングディスク協会の講師陣



主 催 江別市子ども会育成連絡協議会
江別市教育委員会
協 力 北海道フライングディスク協会

申込方法

申込み用紙に記入の上、8月10日(火)までに下記事務局まで郵送、FAX又は持参
※ 電話、メールでの申込みも可

申込み・問い合わせ

江別市子ども会育成連絡協議会事務局(江別市教育委員会生涯学習課青少年係)
〒067-0074 江別市高砂町 24-6
TEL: 011-381-1069 FAX: 011-382-3434
E-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

事業名：はたちのつどい開催事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・はたちのつどい実行委員会
・新成人

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	5	5	8	5
対象指標 2	20歳の年齢到達者数（令和3年度までは「新成人数」）	人	1,452	1,447	1,385	1,348

手段（事務事業の内容、やり方）

・その年度に20歳（はたち）となる青年の有志から構成される実行委員会が、自ら企画や準備を行い、「はたちのつどい」を開催する。
・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市はたちのつどい実行委員会に対して、アトラクション出演謝礼、交歓会景品代など、はたちのつどい開催に要する経費について補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	190	86	180	180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・20歳（はたち）の年齢到達に伴い、成年としてのほぼすべての権利を行使できるようになる人生の節目を祝福・激励することで、参加した20歳年齢到達者に対して、自らが自立した社会人になることへの責任と自覚を促し、より良い社会の創造への貢献の決意に加え、市民としての連帯感を高める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	はたちのつどい出席者数（令和3年度までは「成人のつどい参加者数」）	人	861	0	2,825	674
成果指標 2	出席率	%	59.3	0	48.7	50

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	513	426	914	662
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,281	1,942
総事業費 (A+B)		千円	2,819	2,715	3,195	2,604

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の組織化及び開催等の運営 案内状の発送 しおりの作成 はたちのつどいの開催及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会への補助 案内状の郵送料 しおりの印刷費用 はたちのつどい会場使用料等 	180千円 106千円 36千円 340千円

事業名：科学体験教室開催事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略				
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校3年生から中学校3年生までの児童・生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内の小学3年生から中学3年生までの児童生徒数	人	0	0	0	6,793
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集する。
- ・科学講師を招き、参加者に科学の不思議さや楽しさを伝えながら、考える力を養うきっかけを提供できる体験教室を開講する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	年間開催回数	回	0	0	0	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・科学の不思議さや楽しさを体験することで科学に興味・関心を抱くようになる。
- ・子どもたちの知的好奇心が刺激されることで、疑問に思うことへの探求心が育まれる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	年間延べ参加者数	人	0	0	0	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	581	561	561	147
正職員人件費 (B)		千円	1,537	763	760	1,165
総事業費 (A+B)		千円	2,118	1,324	1,321	1,312

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	科学体験教室の開催	科学体験教室の開催	147千円

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略					
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動及び有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、活動費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	120	120	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	主催事業協力者数	人	52	39	21	30
成果指標 2	健全育成標語応募件数	件	464	2,414	1,246	1,375

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	120	120	120	120
正職員人件費 (B)		千円	2,306	1,907	1,901	1,942
総事業費 (A+B)		千円	2,426	2,027	2,021	2,062

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成啓発などの標語募集 ・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ・青少年善行賞、善行賞特別賞の選定及び表彰 ・街頭啓発活動の実施 ・会議等の開催 ※上記内容を団体が見直し中。令和4年度総会にて詳細を決定。	市民会議への補助 120千円

令和3年度 青少年健全育成



有害サイトの利用防止、命の重さ、

家族、友達との絆・・・

あなたのメッセージを標語にして

伝えてみませんか？

※交通安全標語は選考対象外です。

令和2年度 最優秀賞

- 「ありがとう こえにだそうよ そのことば こころのなかは きこえない」
対雁小学校 1年 高橋 芽莉さん
- 「助けよう 気づいてあげよう SOS 見て見ぬふりは もうしない」
江別第一中学校 1年 鈴木 琉莉さん
- 「伝えてみよう 日頃の感謝 ささいな事でも 感じる嬉しさ」
とわの森三愛高等学校 1年 田中 陽稀さん

応募期間 7月19日(月)～8月31日(火)



江別市青少年のための市民会議

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	5,869	0	5,865	5,811
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生で構成されるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	キャンプ村開催日数	日	5	0	5	5
活動指標 2						

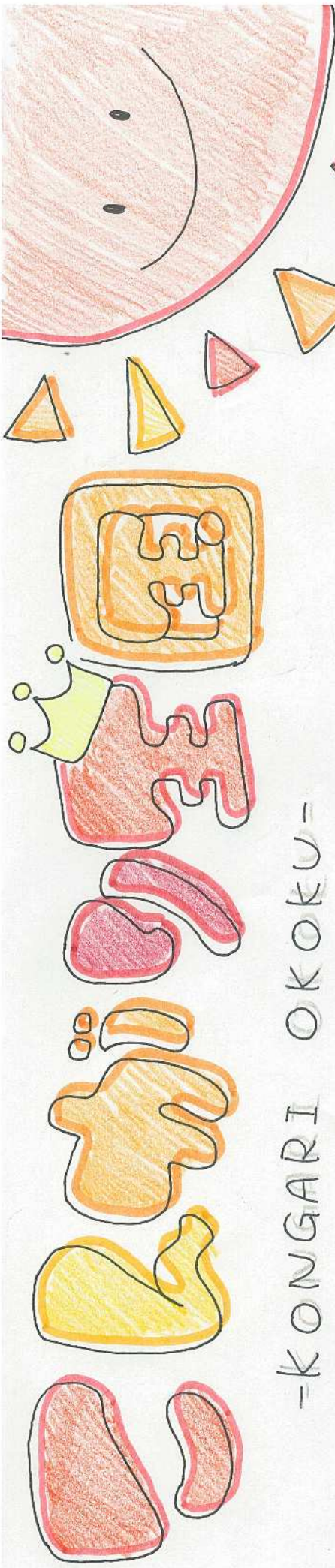
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性や社会性を高める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	参加グループ数	グループ	72	0	39	39
成果指標 2	青少年キャンプ村参加人数	人	334	0	112	112

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	643	0	724	747
正職員人件費 (B)		千円	3,459	2,289	2,281	1,942
総事業費 (A+B)		千円	4,102	2,289	3,005	2,689

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	7月下旬または8月上旬に江別市森林キャンプ場において、高校生と大学生からなるボランティアサークルの指導の下でキャンプを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導員謝礼 336千円 生活指導員ほか食材 70千円 仮設トイレ設置等の委託料 331千円 	



-KONGARI OKOKU-

日時 - Date and Time -

- 8月9日(月)
- 8月10日(火)
- 8月11日(水)
- 8月12日(木)
- 8月13日(金)

13:00 ~ 20:45

この5日間からえらぶぞ!!

今年(は)宿泊しないダイキャンプ!!

場所 - Place -

江別市森林キャンプ場
(西野幌928番地)

参加費 - entrance fee -

1人 1,000円 (備品費, 保険代)

対象 - Target

江別市に住む2,3
小学4年生 ~
中学3年生

申し込み方法 - Application -

教育庁倉, 小・中学校, 江別市内の公民館で

申し込み用紙をもらって, 参加費と一緒に

7月21日(水)までに「教育委員会生涯学習課青少年係」に

申し込んで下さい!

お問い合わせ - Contact -

教育委員会生涯学習課 青少年係

TEL: 381-1069 (江別市高砂町24-6)

定員 - Capacity -

○ 20~23名程度
○ 申し込み多数の場合は, 各日の参加者を抽選により決定します。

主催: 江別市教育委員会

主催: 江別市子ども社会育成連絡協議会

共催: 江別市青少年サークル

共催: 江別市青少年活動協会

事業名：江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業 生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育			戦 略				
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市に居住する小学4年生から中学3年生の児童・生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小学4年生から中学3年生までの児童・生徒数	人	0	0	0	5,811
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域の住民団体やボランティア団体と協働して、江別市の魅力である「食」や「自然」を通じた体験型学習の機会を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
活動指標 1	体験型学習プログラム数	人	0	0	0	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊かな自然環境の中での「自然体験学習」や「地場産品を活用した食育」を通じて、江別市の持つ様々な魅力が子どもたちに理解される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度 実績見込み	4年度予算
成果指標 1	申込人数	人	0	0	0	50
成果指標 2	参加者数	人	0	0	0	50

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	458
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,942
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,400

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	開催内容（予定） ・レクリエーション（異年齢交流） ・自然体験学習 ・昼食・夕食（調理時に食育）	・レクリエーション（異年齢交流） 166千円 ・自然体験学習 67千円 ・昼食・夕食（調理時に食育） 70千円 ・その他（バス借上げ、保険等） 155千円	

